

3月末に調査した2008年4月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。  
2008年4月の消費意欲は、先月から0.6ポイント増加し、  
**51.7点**でした。

前年同月比は0.4ポイントの増加。6ヶ月ぶりに前年超え。

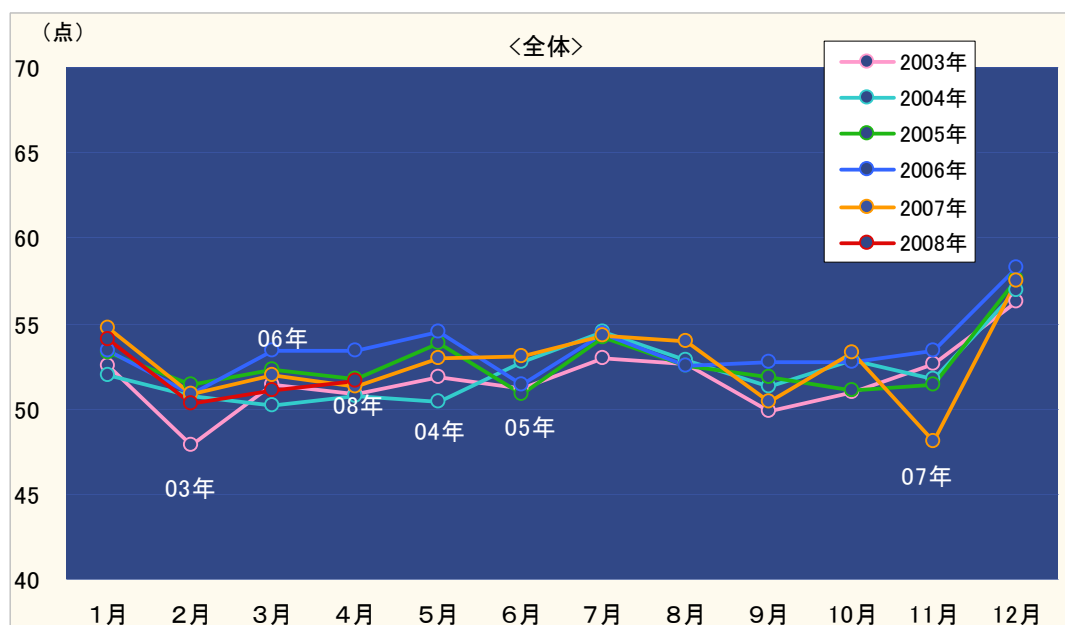
■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

3月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者415名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2008年4月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「4月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2008年4月の消費意欲指数は先月から0.6ポイント増加し、51.7点でした。

2008年4月の消費意欲指数は先月から0.6ポイント増加し51.7点となりました。前年同月比は0.4ポイントの増加で6ヶ月ぶりに前年を上回りました。先月比、前年同月比がともにプラスとなったのも6ヶ月ぶりです。



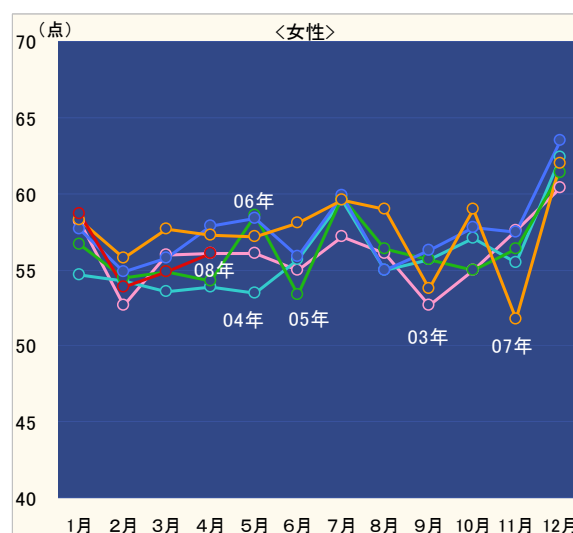
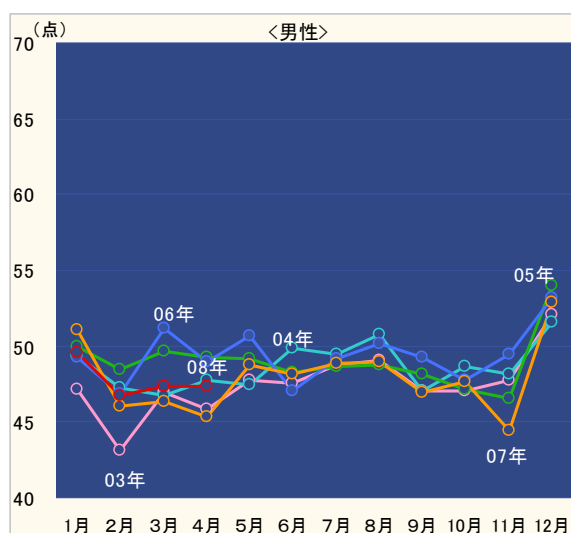
3月の日銀短観では企業の景況感が大幅に悪化、内閣府発表の2月の景気動向指数も2ヶ月連続で50%割れと国内景気は減速の懸念が強まっています。また、総務省発表の2月の全国消費物価指数は1998年3月以来の高い伸びを示しています。4月に入って暫定税率の期限切れでガソリン価格は下がりましたが、パンや食用油の再値上げなど生活必需品の値上がりが続いており生活者の間に節約ムードが広がってきています。本調査では例年、来

月5月は消費意欲指数が伸びますが、暮らしまわりの経済環境が厳しさを増す中、どこまで指数が回復するか、注目していきたいところです。

### ■ 男性の指数が3ヶ月連続で前年超え。女性は3ヶ月連続で前年割れ。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比で±0ポイントの47.4点、女性が1.2ポイント増の56.0点となりました。前年同月比は男性が2.1ポイント増、女性が1.3ポイント減でした。この結果、男性が3ヶ月連続の前年超えとなりました。女性は逆に3ヶ月連続の前年割れです。

同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、男性は、先月に比べ「日常的な小さな買い物」がやや回復、「中くらいの買い物」は2月の水準に逆戻りです。女性は2月、3月と減少傾向にあった「中くらいの買い物」がやや回復しましたが、先月「生活力点調査」開始以来の最低値を記録した「日常的な小さな買い物」がさらに減少し最低値を更新しました。女性の消費意欲指数の前年割れは、日々の暮らしの中で値上げラッシュを実感している30～40代主婦層を中心に、女性の財布の紐がますます固くなっていることを示しているようです。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://www.seikatsusoken.jp/>) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

#### 【調査概要: HILL ネット調査】

調査地域: 首都圏 / 調査対象者: 19～73 才の男女個人 415 人 / 調査方法: 郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 大野・西尾 (03-5446-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450)

